

つなぐ

第17号

2020年5月1日発行
鳥取県 境港市議会

令和2年3月定例会（令和2年度当初予算）	—	P 2
令和2年3月定例会（令和元年度補正予算）	—	P 4
令和2年3月定例会（議決結果）	—	P 5
一般質問	—	P 6
議長あいさつ・委員会構成	—	P19
テーマ別意見交換会実施団体募集	—	P20

令和2年3月定例会が行われました

3月定例議会は、2月26日から3月19日までの23日間の会期で開かれ、令和元年度一般会計補正予算、令和2年度一般会計予算など予算議案14件、小中学校設置条例の一部改正、公園条例の一部改正など条例12議案、人事その他6議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。また、提出された陳情5件のうち3件が採択、議員提出議案6件のうち5件が可決されました。

議決結果はP5に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。

令和2年度 当初予算



Sea級グルメ全国大会 in 境港実行委員会負担金

境港市で開催される第13回みなとオアシス
Sea級グルメ全国大会にかかる総事業費
1,361万円のうち本市の負担金

821万円



3歳未満児の保育料引き下げ

幼児教育・保育無償化の対象にならない
3歳未満児の保育料を最大13%引き下げる

370万円



ロタウイルスワクチン 予防接種助成事業

法改正で始まるロタウイルスワクチン定期接種の対象外
となる乳児も無料で接種できるよう市独自に助成する

256万円



第三中学校施設整備事業

老朽化した第三中学校校舎の改修
(大規模改造、下水道接続)を実施する

3億5,153万円



防災行政無線システム 更新事業

防災行政無線のデジタル化を2年かけて整備し、
難聴地域の縮減など改善をはかる

3億7,627万円



自主防災組織育成補助金

自主防災組織が行う資機材整備や
訓練活動などへの補助金を結成後5年ごとに
利用できるよう制度改正した

135万円



市営住宅建替事業

市営誠道団地9戸分の解体と
5戸分の新築を行う

1億704万円



まちづくり 総合プラン策定事業

境港市が取り組むべき課題、めざすべき方向・目標、
実現に向けた施策や方針を定めた第10次総合計画を策定する

72万円



再生可能エネルギー 活用調査・研究事業

渡地区の適地に太陽光パネルを設置し、
近隣の公共施設に送電し活用するための調査研究を行う

1,217万円



市民温水プール改修事業

市民温水プールの老朽箇所や
トイレなどの大規模改修を行う

1億7,397万円

令和元年度

一般会計補正予算



新型コロナウイルス対策

小学校の臨時休校などにより午前から開設した児童クラブ指導員の賃金、保育園や児童クラブで使用する子ども用マスクや消毒剤などの費用

1,375万円



健康診査事業

肺がん検診の受診勧奨の強化により受診者が増加し、検診委託料を増額する

53万円



可燃ごみ処理委託事業

米子市クリーンセンターへの委託単価の変更や、観光客の増加によるごみ排出量の増加などのため、処理委託料を増額する

6,594万円



小中学校内通信 ネットワーク整備事業

国の補正予算を活用して、児童生徒1人1台のタブレット端末整備に向けて校内通信ネットワーク環境を整備、拡充する

1億1,615万円

令和2年3月定例会 議決結果

◆議案（予算）

番 号	案 件	議決結果
第6号	令和元年度境港市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
第7号	令和元年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
第8号	令和元年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
第9号	令和元年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
第11号	令和2年度境港市一般会計予算	原案可決（全会一致）
第12号	令和2年度境港市国民健康保険費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第13号	令和2年度境港市駐車場費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第14号	令和2年度境港市下水道事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第15号	令和2年度境港市高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第16号	令和2年度境港市介護保険費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第17号	令和2年度境港市土地区画整理費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第18号	令和2年度境港市市場事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第19号	令和2年度境港市後期高齢者医療費特別会計予算	原案可決（全会一致）
第34号	令和元年度境港市一般会計補正予算（第5号）	原案可決（全会一致）

◆議案（その他）

番 号	案 件	議決結果
第10号	工事請負契約の締結について【境港市民交流センター（仮称）新築工事（電気）】	原案可決（全会一致）
第32号	字の区域の変更について	原案可決（全会一致）

◆議案（条例）

番 号	案 件	議決結果
第20号	境港市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定について	原案可決（全会一致）
第21号	境港市職員のサービスの宣誓に関する条例及び境港市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第22号	境港市被災者住宅再建等支援事業助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第23号	境港市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第24号	境港市立小中学校設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第25号	境港市児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第26号	境港市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第27号	境港市市民体育館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第28号	境港市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第29号	境港市森林環境基金条例制定について	原案可決（全会一致）
第30号	境港市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第31号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）

◆陳 情

番 号	案 件	議決結果
第1号	桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出についての陳情	不採択
第2号	公定価格の改善、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情	採択 意見書提出
第3号	放射能汚染された除去土壌（除染土）の再利用（処分・拡散）を全国で進める省令案の再考を求める意見書の提出についての陳情	採択 意見書提出
第4号	原子力発電所事故時の避難計画策定の「事前対策めやす線量」はより低い値を設定するように国への意見書提出を求める陳情	採択 意見書提出
第5号	島根原子力発電所事故時の避難の際、UPZ圏内に住む乳幼児及び妊産婦等がPAZ圏内の住民同様に被ばくしないで避難できる具体的な対策を求める陳情	不採択

◆委員会提出議案

番 号	案 件	議決結果
第1号	公定価格の改善、待機児童解消、保育士の処遇改善のための必要な措置を求める意見書の提出について	原案可決
第2号	放射能汚染された土壌（除染土）の再利用（処分・拡散）を全国で進める省令案の再考を求める意見書の提出について	原案可決
第3号	原子力発電所事故時の避難計画策定の「事前対策めやす線量」をより低い値に設定することを求める意見書の提出について	原案可決
第4号	公立・公的病院の存続と充実を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）
第5号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）
第6号	「桜を見る会」の明確な情報公開と説明責任を果たすよう求める意見書の提出について	否決

このほかに、人権擁護委員候補者の推薦についてなど人事関係議案4件に全会一致で同意し、報告案件が2件ありました。また、2月臨時議会においては、報告案件が4件あったほか、境港市民交流センター（仮称）新築工事に係る工事請負契約締結の議案2件が原案のとおり全会一致で可決されました。

市政を問う

議員12人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員については最大1ページとしていますが、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」を行う場合は会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ	質問事項		質問議員
7・8	代表質問	①市民一人ひとりを大切にする教育と福祉の充実について ②経済の活性化と都市基盤整備について	平松 謙治
8	関連質問	①学校教育の充実について	柊 康弘
9	関連質問	①まちづくり推進について ②経済の活性化について	米村 一三
10・11	代表質問	①規律ある行財政運営と協働の推進について ②経済の活性化と都市基盤整備について ③市民一人ひとりを大切にする教育と福祉の充実について	築谷 敏雄
11	関連質問	①経済の活性化と都市基盤整備について	永井 章
12	関連質問	①新型コロナウイルス感染症対策について ②環日本海オアシス都市への成果と展望について ③新しい図書館づくりについて	佐名木知信
13	各個質問	①就職氷河期世代とひきこもり支援について ②地域が抱える課題解決の切り札としてのローカル5Gの導入について ③幼児教育・保育の現場における課題について	足田 法行
14	各個質問	①米子鬼太郎空港の今後の展望について ②人口減少対策の推進について	景山 憲
15	各個質問	①マイナンバーカード普及促進について ②本市の災害対策について ③乳幼児健診における小児がんの早期発見について	田口 俊介
16	各個質問	①高校生への通学費補助について ②地球温暖化、気候変動への対応について ③原発問題について	長尾 達也
17	各個質問	①自治体の防災・減災対策について ②4点の教育問題について	松本 熙
18	各個質問	①教員の働き方について ②新型コロナウイルス対策について	安田 共子

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。
佐名木知信氏は3月20日付で辞職しました。

コミュニティ・スクールの実施組織は

教育長

実践に向けた協議を行っている



会派 ぎょうどう 平松 謙治 議員

〔平松〕校区審議会の小中学校編成の最終答申で3つの中学校区に小中一貫校を



読書まつりでの中学生の読み聞かせ活動

新設・増設する案が示されたが検討状況は。【教育長】答申では、児童数や学校の適正規模・統廃合を総合的に検討し、判断する必要があるとされている。現時点では現在進めているコミュニティ・スクール（CS）を基盤とした分離型の小中一貫校の設置を検討したいと考えている。【平松】一中校区でCSの活動が始まっ

た。CSの勉強会で具体的な事業の話をしたが、実際に実施する組織をどう考えるのか。【教育長】「学び」「安心」「ふれあい」の各グループでの協議・実践とあわせ、各グループの代表者が学校運営協議会に出席し、情報交換しながら多くの方に取組む事業を紹介して、人を巻き込んでいく形で進めていく。

高齢者クラブの抱える問題は？

市長

高齢化や会員数の減少が指摘される

〔平松〕高齢者クラブの活動状況や組織に問題はないか。【市長】市内のクラブは健康づくりや奉仕活動などさまざまな活動を行っている。毎月連合会の理事会で活動報告が行われ、市との情報共有をはかっている。問題点としては、高齢化や会員数の減少が考えられる。



奉仕活動 公園草刈り
(写真提供：上道ことぶきクラブ)

〔平松〕私の自治会の高齢者クラブは役員の手の問題を自治会とともに議論し、対策を考えた。その際、一般の会員は細かな活動や単位クラブに交付される高齢者クラブ補助金など財政面についてあまり知らない状況だった。他地区の状況はどうか。

〔福祉保健部長〕単位クラブでの情報の伝え方までは把握できていない。【平松】高齢者クラブや子ども会、自主防災会などの基礎的役割をしているのが自治会であると思う。それぞれが連携を取れる施策の展開を望む。

防災組織育成補助金の利用状況は？

防災監

近年は、毎年20数団体が利用している



防災訓練で参加賞として配布したアルファ米など

【平松】自主防災組織の訓練などの実施状況はどうか。

【市長】市の職員が行う出前講座などを活用し、防災講話や段ボールベッドなどの組み立て実習を行っている。また、地域の福祉・教育施設と合同で大規模な

避難訓練に取り組んでいるところもある。

【平松】私の所属する自主防災組織は、自主防災組織育成補助金の訓練活動等補助金で防災訓練時の参加賞として「非常時にお湯で戻して食べるアルファ米」や「缶に入った柔らかいパン」などを配った。この補助金の利

用状況はどうか。

【防災監】毎年、20数団体が利用している。【平松】参加賞以外にも積雪時に道路の水を砕く道具もこの補助金を活用して準備した。補助金の制度自体や他団体の活用事例などを広報して利用の拡大をはかりたい。

登下校時の安全対策は？

教育長

二中前交差点にガードパイプを設置する



きょうどう 桒 康弘 議員

【桒】誠道地区の児童は春から余子小学校へ集団登校となる

が、集団登校練習から見えた登下校時の課題や要望は。

【教育長】保護者からの要望は第二中学校前交差点にガードパイプの設置や各交差点に通学路の警戒看板の設置などが出ている。市教育委員会・管理課・警察・県土整備局と連携し対応を協議している。来年度以降、産業中央線の歩道縁石にラバーポールの設置や第二中学校前交差点待機部にガード



第二中学校前の交差点

パイプを設置する予定となっている。今後とも児童の安全な通学路確保に向け環境整備に努める。

【桒】第二中学校前交差点からの県道は4月にフェリーターミナルが供用開始されることから、交通量の増加が予想される。児童の安全確保のためガードレールの設置が必要と考える。県に要望してはどうか。

【教育長】関係部署と協議し、要望する。

UDフォント導入の検討を求める

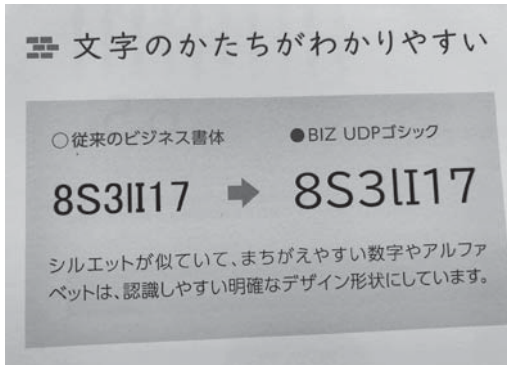
市長

市報など多くの配布物に活用し始めている

〔米村〕業務を円滑に、効率良く遂行するには、新たなツールの導入を検討することが重要だ。UDフォントは弱視や読



きょうどう 米村 一三 議員



従来の書体とUD（ユニバーサルデザイン）フォントとの比較

み書き障がいのある人に読みやすく工夫された文字である。このようなツールは、優しい市政運営に欠かせない。導入の検討を求める。

〔市長〕UDフォントは、読みやすさや誤読の防止を考え、デザインに工夫を凝らした書体である。その特性を活かし活用する自治体や学校も多いと聞いている。本市でも職員の使用

用するパソコンにはすでに標準機能として利用可能である。市報では昨年4月号より、一部の記事においてUDフォントの導入を開始し、9月号より本格導入をしている。市民向けの広報啓発チラシなどにも活用を行っている。

市民の方々に情報がしっかりと伝わるのが重要であるので読みやすさが第一と考える。

水木しげる記念館 建て替えについて

市長

2つの新築方法を十分に比較検討して進める

〔米村〕老朽化した水木しげる記念館について、同記念館あり方検討会より「建て替えるべき」との提言を受け、今後議論を深めるとのことだ。同記念館の令和2年度収支見込みは、5800万円の黒字であることから別の場所での建て替えがベターと考える。

〔市長〕現在の水木しげる記念館は、JR境港駅から約800mの所に位置し、水木しげるロードを散策してもらうには、好立地の場所に建っている。

今後、整備方法を検討する際には、現在の施設を解体し、現在の場所に新築する場合、休館にもなう入館料収入の



©水木プロ

建て替えの検討が進む水木しげる記念館

減少や、観光客の減少が地域経済に与える影響などがある。また、新たな場所に移転新築する場合は、立地条件も含めた場所の選定や跡地の活用など、それぞれのメリット、デメリットなどをしっかりと検討することが必要だと考える。

シティプロモーションの取り組みは



自民クラブ 議員
築谷 敏雄

市長

圏域連携でイメージアップと活性化を進める

【築谷】シティプロモーションへの取り組みは。

【市長】平成15年度から「さかなと鬼太郎のまち・境港」として情報発信に努めてきた。人口減少社会に向けた施策としては、本市だけでなく中海・宍道湖・大山圏域が一丸となり、この圏域の魅力を積極的に情報発信することがより効果的である。関係自治体と連携を深め、イメージアップと活性化を進めたい。

【築谷】ユーザーの取り組みや情報発信は。

【市長】ホームページに「定住促進」ページを設け、本市の支援策や就業支援情報、定期借地権制度などの掲載や、移住・定住パンフレット「イキイキ暮らし境港市」を作成し、



圏域のシティプロモーション

相談会などで配布している。県西部地域振興協議会では、圏域版移住定住リーフレットの作成や、お試しししゃべり場の開催などに取り組んでいる。

高齢者の就労促進の取り組みは

市長

関係機関との連携により就労促進に取り組む

【築谷】高齢者の就労促進の取り組みや、課題は。

【市長】境港ハローワークが60歳以上に限定した求人枠を設け、老人福祉センターや公民館で相談室を開設し、ハローワーク米子でも、60歳以上限定の求人情報「シルバーチャレンジ通信」を月2回発行している。未経験の作業、体力をともなう重労働、繁忙期の長時間勤務などから、短期間で離職するといった課題があり、各機関で単純作業のみ、短時間のみ求人開拓に取り組んでいる。市では、市報掲載や求人情報の庁内設置など周知に努め、関係機関との連携により、就労促進に取り組んでいる。

【築谷】企業の働き方改革促進の取り組みは。



米子市の高齢者就労支援「よなごハツラツわーく」

【市長】国が商工会議所を通じて周知・啓発を行っており、本市では、市報において周知をはかるなど関係機関と連携し、取り組んでいる。

管理運営計画の策定状況は

施設機能ごとに個別の利用計画を策定したい

教育長

【築谷】管理運営計画の策定状況についてうかがう。

【教育長】先進地の視察や、先進事例を参照しながら、それぞれの施設機能に応じ、本市の状況に合う管理運営のあり方について、検討を進めている。

図書交流広場については、「読書まつり」や「居場所につ



(仮称) 境港市民交流センター
完成イメージ図

【築谷】管理運営計画のとりまとめは、

いて考えるまちなかワークショップ」で、参加者からの貴重な意見を聞いている。他の施設機能についても、今後、利用者などの意見を聞きながら、施設機能ごとに、個別の利用計画を策定したいと考える。

【教育長】教育委員会を中心に取り組んでおり、ホール機能や図書交流広場は、利用者や、専門家の意見を聞きながら、検討を進める。防災機能や福祉機能などについては、関係各課と連携していきたいと考えている。

どのような組織で進めるのか。

遊休農地耕作放棄地対策は

市長

遊休農地の縮減
農地の集積・集約化に努める



自民クラブ
永井 章 議員

【永井】遊休農地・耕作放棄地対策における取り組み、課題や展望は。

【市長】毎年農業委員会は、市内全域の農地パトロールを実施し、現況把握した上で、農地所有者に対し、今後の利用意向を調査している。令和2年度からは、農業委員会、農地中間管理機構などと連携し、遊休農地所有者への訪問活動、地域農業者との話し合い活動や、認定農業者、新規就農者への貸付を促進することで、遊休農地の縮減、農地の集積・集約化



余子地区の造成地

などに努めたいと考える。

【永井】造成地の利用状況や、渡町、森岡町の造成予定は。

【市長】給食センター南側農地は、農業法人1社と新規就農者1人に貸し付け、二中北側農地は、新規就農者1人に貸し付ける予定。渡町、森岡町については、令和2年度に、改めて農地需要や後継者の有無などを調査し、慎重に検討したいと考える。

今後のウイルス流行への備えは



自民クラブ 佐名木 知信 議員

市長

国・県、関係機関と連携・協議をして対応

【佐名木】 新型感染症対策を教訓とし、「正しく知り、正しく怖れ、冷静に対応」できる危機管理体制を整え、今後起こり得る未知のウイルス流行に対抗できるよう、しっかりと備えることが大切だと思うが、市長の所見をうかがう。

【市長】 国・県、関係機関とよく協議をして対応していく。

【佐名木】 休校により、受け皿となる児童クラブの体制の強化や、子どもの居場所づくり、ストレスの発散などの考慮を十分にされたい。

観光産業の持続的発展策を

市長

官民の知恵で対応策の充実をはかる

【佐名木】 観光産業が厳しい状況にある中、その終息後いち



観光振興への寄与が期待される 境夢みなとターミナル

早くスタートが切れるよう、次の一手を打つ準備をすべき。水木しげるロードは官民一体となった努力や工夫により、リピーターとなる水木・妖怪ファンを獲得し、賑わいを増してきた。ここで原点に返り、国内を中心に関係・交流人口の掘り起こしをはかり、安定・持続的発展をめざす策を講じるべきでは。

【市長】 官民が知恵を出し合い今後の対応策の充実をはかる。

新しい図書館づくりは市民とともに

教育長

市民の意見を聴く場の確保に努めたい

【佐名木】 市民図書館は誰のため何のため存在するのかを



新しい図書館の運営に市民の意見を(居場所について考えるまちなかワークショップ)

見据えて取り組みたい。子や孫の世代まで使える新しい図書館像は、市民の声を聴き、市民とともに築き上げなければならぬ。「まちづくり・ひとづくり」の中核としての図書館づくりを。

【教育長】 市民の意見を聴く場の確保に努めたい。図書館はまちの心臓部だと考えている。まちへエネルギーや栄養を供給し得る施設としての、図書館づくりに努めたい。

本市の就職氷河期世代への支援は



公明党 定田 法行 議員

市長

関係機関と連携し 制度や事業の周知をはかる

〔定田〕本市の就職氷河期世代への支援の取り組みについての所見をうかがう。

〔市長〕さまざまな課題に直面している30代半ばから40代後半の方々の対応として、国は専門窓口の設置、資格習得の支援、企業への助成金などを創設し、集中的に就労支援を行い、県ではハローワークにおいて支援セミナー・企業説明会の開催などを計画している。本市としては関係機関と連携し、制度やセミナーの周知をはかっていきたい。

本市のローカル5Gの活用は

市長

国や先進地の動向を注視し、検討したい



ローカル5Gは地域を劇的に変える

〔定田〕可能性が広がるローカル5Gの本市の活用について所見をうかがう。

〔市長〕超高速・大容量・超低遅延・多数同時接続の特徴を、特定の周波数帯域で活用する次世代移动通信規格であるローカル5Gは、地域課題を解決するための手段として期待されている。総務省で開発実証事業が実施される予定。本市において現時点ではローカル5Gの活用は考えていないが、国や先進地の動向を注視して、検討したい。

さらなる子育て環境整備を望む

市長

子育てするなら境港を ひょうぼう 標榜したまちにする

〔定田〕さらなる子育ての環境整備を望むが、子育て支援に



人格形成や非認知能力の基礎となる幼児教育

〔市長〕議員から提案のあったベビーセンターと夜間保育に関して需要はまだないが、あらゆる子育ての環境整備についてしっかりと意をもち、本市が標榜するさらなる子育てするなら境港にふさわしいまちづくりをするべきと思う。

〔定田〕市長の思いがよく伝わってきた。長い間の子育て支援の貢献に対して感謝する。

対する市長の決意と所見をうかがう。

国内地方空港との定期便化の実現を

市長

国内路線拡充に向け粘り強く働きかける



無所属 景山 憲 議員

〔景山〕米子鬼太郎空港は、山陰地方で唯一国際定期便が就航する空港であるが、日韓関係の悪化や思いもよらない新

型コロナウイルスの感染拡大による影響ですべて運休状態にある。

〔市長〕国内路線の拡充は圏域全体の利便性向上や地域経済活性化などの観点からも非常に重要である。本市が参画している米子空港利用促進懇話会では、鳥取県と連携して国内路線の誘致に取り組んでいる。令和元年度も国内3社の航空会社と接触し、誘致に向けた取り組みを進めている。今後も国内路線の拡充に向け粘り強く続けていく。



米子鬼太郎空港

本市出身者へ奨学金返還の支援を

市長

奨学金返還への援助は検討が必要

〔市長〕本市にゆかりのある人を企業誘致物産観光推進委員

〔景山〕第2期境港市総合戦略が策定された。これまでも人口減少の流れにストップをかけるため、子育て支援の充実をメインに施策を展開してきた。人口減少に歯止めをかける施策の一つとして、大学進学などで転出していった若年層の帰郷を促すため企業誘致による働き場の確保がある。企業誘致の現況をうかがう。

〔市長〕郷里に帰ってきてもらうには、まず働き場の確保が必要だ。奨学金返還への援助についてはもう少し検討したい。

に委嘱し、情報収集やPR活動などに取り組んでいただいている。昨年夏には1社の進出が決定し、令和4年から新たに20名程度雇用し稼働する計画があると聞いている。

〔景山〕本市出身者などへの奨学金返還への支援策を考えてはどうか。



次期総合戦略

取得促進へギアを上げた取り組みを



公明党
田口 俊介 議員

市長 先進的取り組みも研究し取得推進に努める

〔田口〕マイナンバーカード取得促進へ、もう一段階ギアを上げた取り組みを期待するが所見は。

〔市長〕現在、窓口で申請方法を説明し、啓発チラシや申請用の用紙を渡すほか、子育て世帯向けの事業に出向き説明を行っている。ホームページは、もっとわかりやすいものにしていきたい。引き続きさまざまな手法で説明を行うとともに、出張申請の受付など先進的な取り組みなども研究し、さらなる取得促進に努めたい。

地区防災計画の策定へ制度の周知を

市長 制度の周知をはかり策定が進むよう努める

〔田口〕基盤的防災情報流通ネットワークを共有・活用できるように、本市の情報システムを改修すべきと考えるが。



「地区防災計画」で「自助」「共助」の意識の醸成を

〔市長〕市町村においてどのように活用できるか、導入の可能性も含め、研究していきたい。
〔田口〕各地域で地区防災計画の策定が進むことが、市全体の災害対応力の向上につながると思われるが地域への周知は。
〔市長〕今後、研究会、出前講座などを通じ制度の周知をはかり、計画策定が進むよう努める。

小児がん早期発見の取り組みは

市長 早期発見につながるよう啓発に努めたい

〔田口〕小児がんの早期発見へ、どのような取り組みを行っているか。



乳幼児健診で、小児がんの早期発見を！

〔市長〕本市では6回の乳幼児健診でスクリーニングの機会を増やし早期発見に努めているが、今後さらに受診勧奨や啓発を行う。
〔田口〕網膜芽細胞腫の早期発見のために乳幼児健診問診票の「眼」の項目に「白色瞳孔」を追加してはどうか。
〔市長〕ご提案の通り、乳幼児健診問診票に「白色瞳孔」の項目を追加することを進めていきたい。

高校生通学費補助制度は不十分だ



日本共産党境港市議団
長尾 達也 議員

教育長

県内3市とも歩調を合わせて取り組む

【長尾】高校生への通学費補助は現状では大半の高校生が対象にならない。県に改善を求めるべき。また市独自の助成制度の創設を。

【教育長】県が市町村と協働して取り組むもので、負担軽減につながるかと判断した。県内3市とも歩調を合わせ取り組んでいきたい。市独自の助成は現在のところ考えていない。

【長尾】高校生のほとんどが対象外の制度は改善されるべき。実態を検証し、県に改善を求めたい。

温暖化防止は緊急課題 役割発揮を

市長

ゼロカーボンシティ宣言を前向きに検討

【長尾】地球温暖化、気候変動対策は地方自治体を含む全世界

	1990年	2017年	変化(%)
デンマーク	70,515	49,226	-30
EU	5,649,529	4,323,163	-23
フランス	551,049	471,028	-15
ドイツ	1,250,993	906,611	-28
イタリア	517,746	427,708	-17
日本	1,270,004	1,289,631	2
オランダ	220,794	193,260	-12
ロシア	3,186,796	2,155,471	-32
スウェーデン	71,304	52,660	-26
スイス	53,252	47,159	-11
イギリス	797,948	474,346	-41
アメリカ	6,371,001	6,456,718	1

出典) 月刊『字源』2020年4月号

主要国の温室効果ガスの排出量の変化
単位：1000トン (CO₂換算)

※「ゼロカーボンシティ」
2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出実質ゼロに取り組むことを表明した自治体

【市長】気候変動は、すべての人々、生物にとって避けることのできない喫緊の課題。地方自治体が自ら率先して取り組みを行い模範になる必要がある。「宣言」についても前向きに検討していきたい。

【市長】気候変動は、すべての人々、生物にとって避けることのできない喫緊の課題。地方自治体が自ら率先して取り組みを行い模範になる必要がある。「宣言」についても前向きに検討していきたい。

【市長】気候変動は、すべての人々、生物にとって避けることのできない喫緊の課題。地方自治体が自ら率先して取り組みを行い模範になる必要がある。「宣言」についても前向きに検討していきたい。

原発是非の判断は住民投票の尊重を

市長

住民投票結果は重く受け止めるべきと考える

【長尾】国も安定ヨウ素剤の事前配布を積極的に行うよう要

【市長】安定ヨウ素剤の事前配布を必要とする多くの市民に配布できるように取り組んでいく。

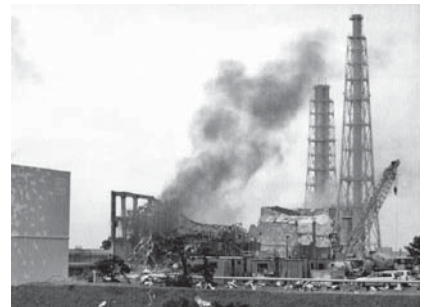
【市長】安定ヨウ素剤の事前配布を必要とする多くの市民に配布できるように取り組んでいく。

島根原発の稼働の是非については、住民投票条例に基づき実施される住民投票の結果は重く受け止めるべきと考える。

【市長】安定ヨウ素剤の事前配布を必要とする多くの市民に配布できるように取り組んでいく。

【市長】安定ヨウ素剤の事前配布を必要とする多くの市民に配布できるように取り組んでいく。

【市長】安定ヨウ素剤の事前配布を必要とする多くの市民に配布できるように取り組んでいく。



水素爆発で跡形もなくなった
福島原発3号機

自治体の災害対策は 市民の安全第一

防災監

防災訓練を重ね 災害対応に不断の努力を



【松本】「水害はないだろう」と思う市民が多いと感じる。本市の水害実例は。

【市長】平成18年7

月に集中豪雨で15棟の床下浸水が発生している。

【松本】境港市の短時間降雨量の最高値はどの程度か。

【市長】過去の最大1時間降水量は、昭和28年8月の71・3mmである。

【松本】行政は、災害保護責任を果たすために被害軽減や住民保護、さらに防災教育に必要な対応をとることが義務づけられている。現状や



真備町にかけつけたボランティアの皆さん

課題はどうか。

【防災監】地域防災計画に従って、平常時から防災訓練を重ね、災害発生時の対応ができる不断の努力が大事だ。

【松本】真備町の災害対応に3名の職員を常駐させた事例を聞いた。一人でも1日研修に派遣されたいと思うがどうか。

【市長】機会をとらえ職員派遣をし、勉強をと考える。

NIE教育の効果はどう考えるか

教育長

NIE教育の有効性は期待できる

【松本】新聞を読まない子どもたちの実態とNIE教育に対する考え方は。

【教育長】境港市の子どもたちは、新聞を読む割合は高い傾向にある。新聞を読む機会が多いほど各教科の正答率も高い傾向にある。NIE教育の有効性は期待できるものと考えられており、3月の校長会で紹介したい。

【松本】「特別の教科道徳」の評価の必要性や評価基準について



新聞を活用した教育

【教育長】「特別の教科道徳」となった。数値評価ではなく、いかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人評価として行っている。

【松本】現政権の下で導入。人権・平等・自由・国民主権など、子どもの権利条約の項目がないことが気がかりだ。道徳を教科とすることに違和感を感じる。

過労死判定ラインを 超える教職員は

教育長

月平均人数は小学校1.3名
中学校6.7名



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員

〔安田〕勤務時間の把握方法、「過労死判定ライン」とされる時間外勤務月80時



教員数の大幅増を求めるチラシ
せんせい ふやそうキャンペーン実行委員会

間超の教職員数は。〔教育長〕給与・勤怠管理システム上への出退勤時の打刻により、教職員各自が申告している。令和元年度4〜1月の時間外月80時間超の月平均人数は小学校1.3名、中学校6.7名である。

〔安田〕政府が導入可能とした「1年単位の變形労働時間制」は、繁忙期の労働時間を最大10時間まで伸ばし、閑散期の勤務時間を短くできるようにするもので、現場の教員は反対の声を上げていく。業務の改善、教職員増こそ必要であり、變形労働時間制は導入するべきではない。見解は。〔教育長〕教職員増で業務負担が軽減し、児童生徒へきめ細い指導が可能となる。變形労働時間の導入は、教職員の意見要望をしっかりと把握し、有効性を検証して進める必要があると考える。

新型コロナウイルス 市内業者への支援は

市長

国、県、市の融資制度など
周知に努める

〔安田〕新型コロナウイルス感染症が世界に広がっている。営業に苦労している業者の実態把握と、業者への支援策の周知は。〔市長〕商工会議所のアンケートでは、特に観光関連の小売業、飲食業で売り上げが減少と回答があ

り、影響が出ている。県と協調して創設した融資制度は商工会議所と市内金融機関に情報提供した。国の制度とあわせ関係機関と連携し周知に努めたい。〔安田〕小中学校の臨時休校の決定は性急だったのではないかと。春休み前1週間は臨時休校を解除する検討を。

〔教育長〕県の「政府の休校要請を重く受け止める」との意見を重視し、校長会で3月2日から休校と決定した。自分としては反省するところもある。今後は、感染の状況、子どもたちの様子により、学校とも相談しながら柔軟に対応したい。



アルコール消毒とマスクで予防を

議長あいさつ

この度、第32代境港市議会議長に就任いたしました森岡俊夫です。

近年、市民の政治・議会への関心低下、地方議員のなり手不足の問題が全国的に取り上げられております。境港市議会では、市民に「開かれた議会」として徹底した情報公開と説明責任を果たすため、さらなる議会改革を推し進めてまいります。政党・会派の垣根を越えて市政に対するチェック機能・政策立案機能の充実をはかり、地方創生の先駆けとなる新しい境港市議会を皆様とともに作っていく所存です。どうぞよろしくお願いたします。



【副議長】
景山 憲



【議長】
森岡 俊夫

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 委員名簿

委員会名		構成委員数	正副委員長	委員		
常任	総務民教委員会	7	正：平松 謙治 副：松本 熙	森岡 俊夫 長尾 達也	柗 康弘 田口 俊介	荒井 秀行
	経済厚生委員会	7	正：永井 章 副：岡空 研二	米村 一三 足田 法行	築谷 敏雄 景山 憲	安田 共子
	予算委員会	14	正：平松 謙治 副：永井 章	米村 一三 柗 康弘 安田 共子 足田 法行	岡空 研二 荒井 秀行 長尾 達也 松本 熙	森岡 俊夫 築谷 敏雄 田口 俊介 景山 憲
議会運営委員会		8	正：米村 一三 副：安田 共子	岡空 研二 築谷 敏雄	柗 康弘 田口 俊介	荒井 秀行 景山 憲
特別	基地・空港港湾問題調査特別委員会	7	正：築谷 敏雄 副：柗 康弘	米村 一三 足田 法行	永井 章 松本 熙	安田 共子
	災害対策調査特別委員会	7	正：荒井 秀行 副：足田 法行	岡空 研二 長尾 達也	平松 謙治 景山 憲	森岡 俊夫
	議会改革推進特別委員会	8	正：長尾 達也 副：田口 俊介	米村 一三 永井 章	平松 謙治 築谷 敏雄	森岡 俊夫 松本 熙

令和2年3月21日現在



令和2年3月19日撮影



海 桜

2019年 撮影：実松ちさと 様

テーマ別意見交換会 実施団体募集!

～議会と意見交換しませんか?～

市議会では、境港市議会基本条例に基づき、多様な形で市民の皆さんとの意見交換を実施することとしており、例年、教育・文化・福祉・産業などの各行政分野にかかわりの深い市内各種団体と「テーマ別意見交換会」を実施しています。

今年度、議会と意見交換を希望される団体はお気軽に議会事務局までご連絡ください。

【過去の実施団体例】

自治連合会、小中学校PTA連合会、民生児童委員協議会、市内高校生、青年会議所、女性団体連絡協議会、若手農業者、障がい児(者)育成会 など

★募集団体

市内に所在する各種団体

★開催内容

団体から希望されるテーマを基本に意見交換を行います。

(時間：1時間30分程度)

★その他

- ・年間で1～2回程度の開催を想定しています。
- ・意見交換の内容、実施方法、開催時期など詳細については別途協議させていただきます。

★連絡先

議会事務局 電話 0859-47-1097

あしがき

今も新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。本市の3月議会では、感染症対策において、感染予防の周知方法、医療体制および対応、また、市内事業者への影響などについて活発な議論が交わされました。新たな感染症との闘いは相手が目に見えないだけに、過度に不安がったり、油断したりしがちです。大切なことは、多くの識者が指摘している通り、確実に分かっている事実を判断の基準にすることです。事実を知る近道は、政府や自治体の公式発表です。首相官邸ホームページの総合窓口では、「売り上げ激減で事業を継続できない」「公共料金の支払いが困難」など、個別のニーズに対応した支援策へアクセスできます。これから新たな情報が追加されていくと思いますが、本市議会としても市民に正確な情報が行き渡るように注視しながら努めてまいります。

(定田)

【発行責任者】

議長 森岡 俊夫

【広報部会】

部長 安田 共子

副部長 米村 一三

足田 法行
築谷 敏雄